

中川 岩田 岩清水

つなげる学び

音楽サービス創造学科

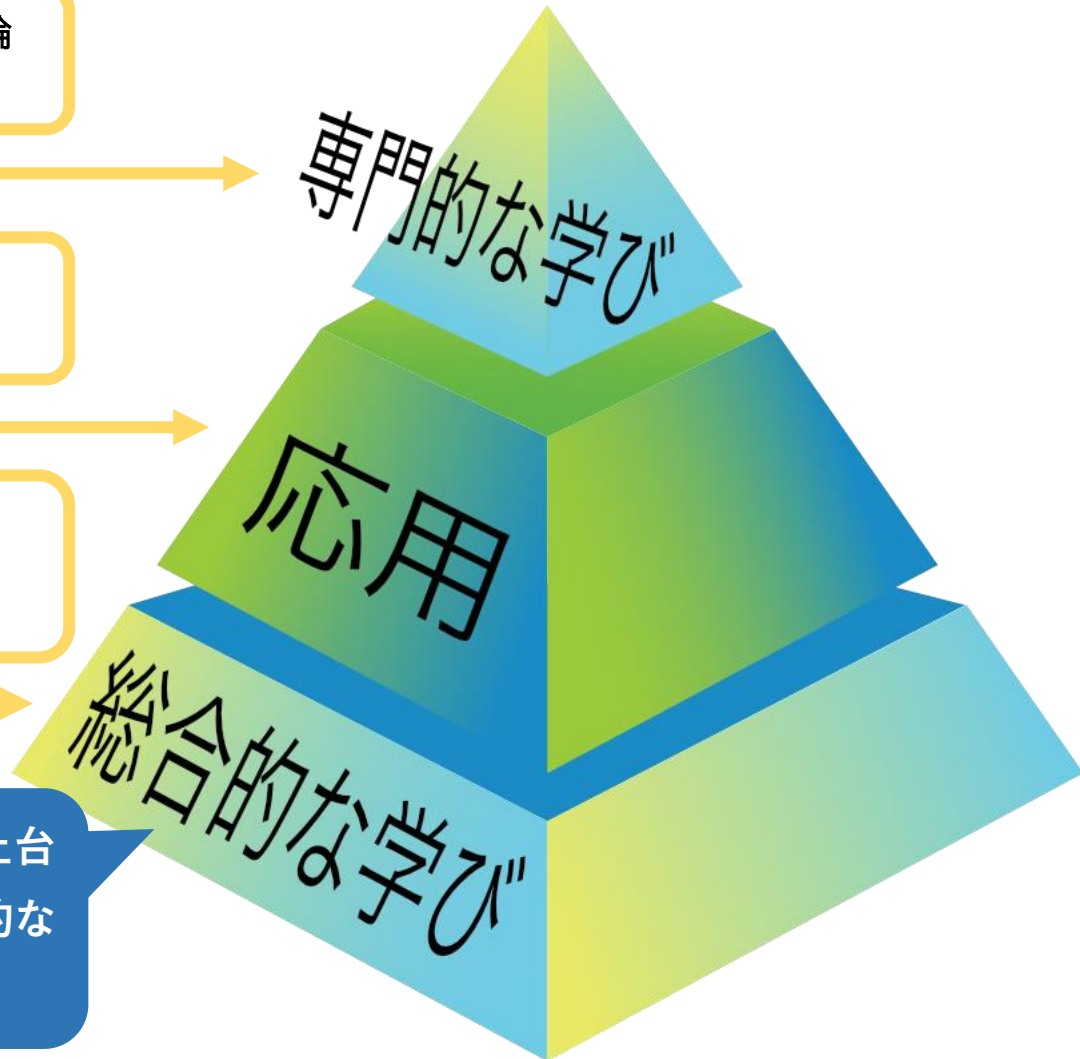
“楽器技術”の学び方

管打・鍵盤・弦楽器概論
インターン実習

楽器の構造理解
基礎技術

管打・鍵盤・弦楽器の
名称や歴史、概要
道具の扱い方など

「総合的な学び」が土台
となり、「応用」「専門的な
学び」へと繋がる。



特徴

総合的な学びでは、道具の扱い方などを身につけることからスタートします。総合的な学びというと「あれもこれも大変だ」と思うかもしれませんが、そんなことはありません。管打楽器や鍵盤楽器、弦楽器などを学んでいくと、ドライバーのサイズや仕様は異なりますが、持つ際の支点や力の入れ方は**全く同じという共通点に気づきます**。そのため、総合的な学びから応用、専門的な学びへと段階的に進んでいく際、その共通点を活かしながら、**様々な視点を持ち多角的に習得していくことができます**。

メリット

様々な視点から技術の活用を考えられるようになります。例えばピアノの響板に使われる木材は、ギターやバイオリンにも使われます。木の性質を学び具体例を多く知ることによって、**使用される理由や目的をより深く考えることができるようになります**。そして、**習得の質もより高めることができます**。

具体的に見てみよう！

管打楽器概論

楽器の分解組み立て作業を正確に、かつスピーディーにできるように学んでいきます。管体を固定するコルクの成形では、管体と同じようにコルクを平に削る必要があります、基礎技術で学んだ平面にする技術とミリ単位で幅を合わせる技術を応用しています。

クラリネットの
↓ジョイントコルク交換



鍵盤楽器概論

外装脱着や打鍵の不具合調整、弦の張り替え、調律などを学んでいます。工具の種類は多いですが、基礎技術で学んだ工具や刃物などの扱い方を活かします。調律は、微妙な力加減で音を合わせますが、細かな作業に慣れているのですぐに対応できます。 鍵盤の高さを合わせる作業は、平面にする技術を活かします。基礎技術での学びをそのまま応用していきます。

→
鍵盤の高さ揃え



↑ピアノ調律

基礎技術

材を平面にする



工具を自在に操る



0.01mm がわかる



弦楽器概論

アコースティックやエレキギターの歴史や構造、メンテナンスを学ぶとともに、バイオリンのリペアも学びます。木工加工の高い精度が求められますが、基礎技術を学んで術に慣れているから安心です。ヤスリを使って学んだ平面にする技術もカンナを使う応用へと発展していきます。



←バイオリン部品の作成

まとめ

音楽サービス創造学科では、楽器に対する技術を素材そのものの性質から学んでいます。例えば、物を平にする“平面だし”。これは管打楽器や鍵盤楽器弦楽器の各分野でも必要な技術です。このように様々な素材に関する知識や技術を基礎から学ぶことで、多角的に考える柔軟な発想で楽器を扱える能力が身につきます。

学校法人 中部学園（職業実践専門課程認定校）

中部楽器技術専門学校

CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6

フリーダイヤル

0120-856-854

TEL:052-741-6788 学校案内無料送付中

URL: www.chubugakki.ac.jp

